

令和4年度の重点課題

○男子

・「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
 ・「50m走」において、県平均値より低い。
 ・全学年において運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合が5.6%である。

○女子

・「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
 ・全学年において運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える女子の割合が男子よりも6.9%多い。

○全体

・「長座体前屈」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育朝会を月に2回実施し、設定した時間を走り続けたり、跳び続けたりする運動を行い、走力・持久力の向上を図った。

○教職員に対して、本校の体力の課題・目標を共有し、授業の準備運動の際に2分間走を行い、走力・持久力の向上を行った。

○児童会の体育委員会が主体となって、週に2回「外遊び教室」を実施し、鬼ごっこやしゃぼ取り等の走る遊びを多く取り入れた。

○長期休暇には家庭でできる体力づくりを紹介し、体力の向上に努めた。

○体育科の授業の始めに、運動能力を総合的に高める動きを取り入れた準備運動を継続的に実施した。（板城マッスル体操）

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.56	22.13	30.49	43.31	53.38	9.56	157.08	22.42	55.24	第5学年	15.42	19.91	36.88	42.76	44.76	9.51	152.71	14.30	57.50

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.56	22.13	30.49	43.31	53.38	9.56	157.08	22.42	55.24	第5学年	15.42	19.91	36.88	42.76	44.76	9.51	152.71	14.30	57.50

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	74.4	20.5	2.6	2.6	第5学年	63.64	21.21	6.06	9.09

学校独自の意識調査

	男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	25.9	71.3	3.2	0	第1学年	69.2	23	7.6	0	
第2学年	86.8	13.1	0	0	第2学年	67.8	25	0	7.1	
第3学年	77.7	14.8	3.7	3.7	第3学年	78.6	17.8	0	3.5	
第4学年	78.3	18.9	2.7	0	第4学年	63.3	20	10	6.6	
第5学年	66.6	23	7.6	2.5	第5学年	64.5	25.8	3.2	6.4	
第6学年	80.5	16.6	2.7	0	第6学年	50	21.4	21.4	7.1	

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・年間を通して、運動能力を総合的に高める準備体操を継続して実施する。（板城マッスル体操）
 ・授業の導入時に高めたい力を明確にした基礎運動を取り入れる。（2分間走、サーキットなど）

体育の授業以外で行う取組内容

・月に2回体育朝会を実施し、設定した時間走り続けたり、跳び続けたりする運動を行う。
 ・自宅で取り組めるトレーニングやストレッチを紹介し、長期休暇に家庭で取り組むことができるようにすることで、運動の日常化を図る。
 ・運動やスポーツをすることが好きな児童を増やすために、児童会の体育委員会が主体となって楽しく、スポーツをしたり、外で遊んだりする機会を設定する。

重点課題

○男子

・「長座体前屈」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
 ・全学年において運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答えた児童の割合が4.3%である。（前年比1.3%↓）

○女子

・「握力」「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
 ・全学年において運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答えた児童の割合が12.1%である。（前年比0.4%↓）

○全体

・「長座体前屈」において県平均値かつ全国平均値より低い。
 ・学年が上がるにつれ、やや嫌い、嫌いと答える児童が増加傾向にある。

令和6年度の重点目標値

○「50m走」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
 ○全学年において、運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合を、男子は4%以下、女子は10%以下にする。